



四月二十日、天皇・皇后両陛下主催の「春の園遊会」が開催され、内山社長夫妻が出席しました。東京の赤坂御苑には、リオデジャネイロ五輪メダリストをはじめ、各界から招待を受けた約二〇〇〇名の参加者が集まり、皇族の方々と交流しました。

園遊会前日の四月十九日、内山社長は安倍晋三首相ご夫妻が主催する夕食会にも招待されました。安倍首相昭恵夫人が、十組二〇名の招待客と食事をしながら歓談し、約三時間の楽しい時間を過ごしました。



四月二十九日、「さわやかいすみ館」にて、キリングループ労働組合協議会・地域ぐるネット九州「愛のカンパ」様より、車椅子をはじめとする福祉用具一式を寄贈して頂きました。

いすみ館のある福岡県朝倉市にはキリングループの工場があり、毎年入居者様を工場見学にお連れしています。キリングループ労働組合協議会による「愛のカンパ」とは、組合員の募金により集められたお金を基に、『国際社会貢献』地域社会貢献を目的に年二回取り組まれる社会貢献活動とのことであります。今年で三十六回目を迎えるにあたり、九州エリアの社会貢献対象施設として選ばれたのが「さわやかいすみ館」でした。

選定の理由を伺つてみると、担当の白石様が地元の筑後工リアで寄贈先を探していたところ、いすみ館のホームページに掲載しているイベント等の写真、入居者様や職員の笑顔の写真を見て、たいへん感動されたそうです。また、そのなかで『入居者様の夢を叶えます』というフレーズ、その夢が叶えられている様子の楽しそうな写真を見て『この施設に決めた! この施設に是非寄贈したい!』と思つて頂けたとのことでした。

寄贈式では、労働組合協議会より四名の方にお越し頂き、代表の君塚様よりご挨拶を頂戴した後、目録の贈呈を受けました。いすみ館からは入居者様を代表して久保山様より感謝状を贈呈し、職員も涙を流してしまったくらいの感動のご挨拶と感謝のお言葉を贈らせて頂きました。また、さわやか俱乐部を代表して本社から出席した川村取締役よりご挨拶をさせて頂き、最後には皆様と記念撮影をしました。

今回寄贈して頂いた福祉用具、車いす二台、L字ベット柵、体交クッショニン式、インカム三台、レク道具一式は、大切に活用させて頂きます。本当にありがとうございます。寄贈式を終えて、改めて地域との繋がりや地域貢献の重要さ、また様々な分野の方々との協働によつて、これまでにない新たなサポートが実施できるのではないかと強く感じました。(原野聖士)



「愛のカンパ」 福祉用具寄贈式

（さわやかいすみ館）

資格取得

おめでとう!

介護福祉士

施設名	職員名
さわやか桜館	鈴木 琢哉
	友永 千春
さわやか桜式番館	和田 美香
	三澤 知世
さわやかGHなすまち	池田 益己
	今井 隆
さわやか成田館	中沢 幸人
さわやかはーとらいふ西京極	松村 久美子
さわやか住吉館	入江 恭弘
	高原 正子
さわやか枚方館	藤原 久美子
さわやか新居浜館	佐伯 いづみ

施設名	職員名
さわやか螢風館	小野 雄志
	坂井 正之
さわやか清田館	乗富 英明
	小柳 香代
さわやかパークサイド新川	尾石 美香
	山内 修
さわやか海響館	廣瀬 欣美
	木下 和巳
さわやか鳴水館	西川 純子
	林田 雪代
さわやか清納館	小柳 泰三
さわやか行橋館	

施設名	職員名
さわやか行橋館	塚原 靖智
	室井 富雄
さわやか田川館	中野 純子
	浅香 めぐみ
さわやかみなと館	濵谷 大地



※GH→グループホーム

熊本地震被災地への 義援金贈呈

熊本地震発生から1年を経過するにあたり、ウチヤマグループが今年4月8日に開催した「第25回ウチヤマグループ特別講演会」の中で、被災地復興支援の為の募金活動を行いました。来場者からのご協力により、429,175円の義援金が集まりました。被災された方々や被災地の支援活動に役立てていただくため、最も被害が大きかつた熊本県上益城郡益城町に対し、4月17日に義援金の贈呈を行いました。

本社から生鳴専務とさわやか俱楽部の肥後課長が益城町役場を訪問し、西村博則町長に募金を手渡しました。西村町長の話によると、益城町を含む熊本県内の被災地は、地震で損壊した役場の建物



や、壊れた家の解体・修復がまだまだ進んでおらず、10年計画で復興を進めていることです。

さわやか俱楽部では、これまでに38名の被災者の方を無償で介護施設に受け入れたこと、そのうち8名の方がまだ施設で生活されていることを西村町長にお伝えすると、その中の一人が以前、益城町役場に努めていて、町長の先輩にあたることがわかり、大変喜ばれていました。



STAR No.111

林 杏子さん [28歳]
さわやかいそだ館／副施設長
(福岡県福岡市)

さわやか俱楽部に入社してもうすぐ丸9年になります。その前は病院で補助看護をしていましたが、私が思っていた仕事内容と違い、さわやかいずみ館に努めていた友人に相談しました。その友人の勧めもあり、さわやかこすもす館に入社しました。

お客様から笑顔で「ありがとう」や「頼りになるね」と言つてもらえた時は、とても嬉しく感じます。今まで声をかけても話してくれなかつた利用者様が「ありがとう。貴女がいてくれてよかつた」と言ってくれた時は、嬉しくて涙が出ました。

平成28年12月、ヘルパーステーションいそだ・デイサービスいそだの指定更新の時に副施設長に任命されました。仕事を任

光り輝くスタッフをご紹介! キラリ★一等星

せてもらえ、無事に更新が出来た時には感動しました。少しづつですが業務を覚えて、今までにない知識が増えていくことにやりがいを感じています。

入社した時は漠然と介護を行うだけでしたが、今までよりも責任が重い立場になりました。介護とは違つて経験していない仕事もたくさんありますから、施設長や事務職員さんが優しく教えてくれています。これからしっかりと仕事を覚えて、施設長の片腕となるように頑張ります。そして、介護福祉士やケアマネジャーの資格を習得したいです。

休みの日はゆっくりとのんびりした時間を過ごしています。趣味は料理・裁縫や細かい作業(物作り)です。座右の銘は「悩む前に行動しなさい。行動してだめなら悩みなさい」です。これからも一生懸命頑張っていきます。

ウチヤマグループで働く
皆さんの日報をご紹介します。



椎屋 麻紀さん [コロッケ俱楽部 人吉駅前店] 熊本県人吉市

常連のお客様が多く見えられました。「今日も来たー」と連続で来られていて、「楽しかったよー」とか「また来るねー」と一言言って帰っていかれる常連様にとても感謝した一日でした。また今日は、家から持って来たタケノコとワラビの入った混ぜご飯をおにぎりにして出したりしました。「美味しかったー、珍しかとありがとねー」と言ってくださいました。これからも自分で出来ることがあれば、進んで取り組んでいけたらと思います。

これこだ 是此田 浩太 施設長 [さわやか鳴水館] 福岡県北九州市

4月14日で熊本地震から1年を迎えます。当時、鳴水館では4名の被災された方を受け入れさせていただき、現在も3名の方が生活されています。

本日はテレビの取材があり、ご家族様も来館されました。ご家族様から「本当に居させてもらってよかった。何一つ不自由することなく生活ができ、心配事もない。感謝しかありません」という嬉しい言葉をいただきました。被災された方の入居に対して、介護面はもちろんのこと、心のケアまでスタッフ全員で行えていたのかなあと想い、素晴らしいスタッフに恵まれたと私自身感謝しています。

まだ全国に困っている方は多くいます。全国でさわやか俱楽部の力を必要としている方がいます。そんな会社の一員として誇りに思います。

両親へ、感謝の気持ちを込めて…
**産んでくれて、
育ってくれて、
ありがとう。**

「さわやか立花館」福岡県福岡市

生島由稀さん
（じょうじま ゆうきさん）



中学から大学までの十年間、陸上競技の長距離をやっていました。高校卒業後の進路で悩んでいた時、父が「自分のやりたいことを思い切りやらないさい」と言ってくれました。その二言で、陸上部の長距離が強い大学へ進学しようと決意しました。

大学受験の前に父は脳出血で倒れ、私が病院に行った時は何を喋っているのかもわからず、身体半分が麻痺して動けない状態でした。リハビリを続けるうちに回復しましたが、脳に言語障害が残り、ものを覚えるのが困難になってしまいました。これからどうなるのだろうと家族が不安になった中、母の明るい雰囲気で、その不安が消えていきました。

普段からジブリのキャラクターのものまねをして笑わせてくれる明るい母です。朝から夜中過ぎまで仕事をしていて、体もきついはずなのに、家族にはいつも明るく接してくれました。考え方やポジティブで母と話していると楽しいし、こんな考え方もあるのだなど気づかされることもあります。どんな時でも味方でいてくれ、何でも相談に乗ってくれました。母みたいにプラス思考で強い存在になるのが目標です。

今年の四月にさわやか俱楽部に入社しました。仕事は初めてのことばかりですが、さわやか立花館で楽しく仕事をしていくます。職員の方たちは忙しい時でも、優しく教えてくださっています。明るい先輩方に囲まれ、一緒に仕事をしていると私も明るい気持ちになります。

悩んだ時には、またお父さんやお母さんに相談すると思いますが、これからもよろしくお願いします。そして、今まで育ててくれてありがとうございます。二十二年間、やりたいことを思い切りできたのは、お父さんとお母さんのおかげです。これから恩返しできるように、今出来ることをしっかりと頑張ります。

コロッケ俱楽部 天神駅前店

受付のせんじゅさん、ホールのあだちゃんとも、親切で感じの良い方々でした。昨年、祖母と娘のお誕生日をこちらで過ごさせていただいたので、お料理もおいしくとっても楽しかったので、今年も来させていただきました。クーポン付きのバーステーはがきを送っていただき、ポイントも三〇〇〇円使えるので嬉しかったです。来年の一人のお誕生日も、楽しくこちらで過ごさせていただきます。

おたよりの紹介

さわやか本城館

新緑鮮やかな好季節となり、四月十七日、十八日で「さわやか別府の里」へ泊の温泉旅行に、本城館職員の荒関さんと野口さん、入居している川原さんと私と四人で楽しんで参りました。荒関さんの綿密な計画と、野口さんの細やかな心遣いのおかげで、素晴らしい旅行ができました。心より御礼申し上げます。

（さわやか本城館に泊入居の谷口様より）

（福岡県北九州市・白石様より）



春の大名列

地元長岡市柄尾地域のお祭り「柄尾諏訪神社春季大祭 柄尾大名列」が行われました。壮大な行列が町を練り歩く、柄尾っ子なら必ず参加したことのあるお祭りです。



利用者様は行列が来るのを今か今かと待ちわび、行列の先頭が見えると「あつやっと来たいや～！」と拍手で出迎えました。天狗に神輿に御稚児様と、通り過ぎる行列に地元の利用者様達も元気に声をかけられ、柄尾の春の風物詩を楽しんでいました。(橋 よし子)



バラ見学に行きました！

バラの花が見頃のこの時期、毎年お世話になっております「グリーンパーク」へ今年もきれいなバラの花を見にお出かけしました。

見事に晴れまして青空にいろいろな色のバラの花が映え、とてもきれいです！「わたしは真っ赤なバラが好き！」「わたしは淡い黄色のバラがいいかな～」



なんとこのグリーンパークのバラ園320種、100万本のバラの花が咲いているということで、どこを見ても違うバラが楽しめます！また行きたいですね。(瀬戸 亜理沙)

さわやかだより

みんなのお便り
集めました！



2周年記念 マグロ解体ショー

見事な職人技でさばかれるマグロをその場で堪能！さわやかかぬま館最大のイベント、開所2周年記念「マグロの解体ショー」を開きました。

70キロを超える大きなマグロ一匹をまるごと見ることはめったにありませんので利用者様はその大迫力にびっくりした様子でした！



最初にマグロの頭の部分を切り落とすと手際のいい包丁さばきで次から次へと解体しました！刺身、にぎり鮓、そして竜田揚げにして利用者様、ご家族様にお配りしました！「何人分とれるんですか」の質問に「120人以上です」との答えが返っていました！

この後、利用者様による詩吟、ギター演奏やボランティア様による歌や踊りのパフォーマンスがあり、会場を盛り上げました！(木主 和治)





バーベキュー 大会!!



初のバーベキュー大会を行いました。ご家族様にも多く参加していただき、入居者様のたくさんの笑顔を見て、たいへん喜ばれました。

玄関前がとても賑やかです。職員は、野菜やお肉、魚介などなど、一生懸命焼かせていただきました。バーベキューセットの貸し出しをしてくださったご家族様も、一緒に手伝ってください大変助かりました。いつもありがとうございます。

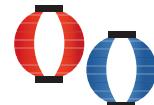
お天気に恵まれ、心地よい風が吹く中、外でのバーベキューは、いつも以上においしく感じますね。炭火で焼いたお肉や手羽先、ソーセージは表面が香ばしく焼きあがつて、とてもおいしかったです。



頑張って焼いている様子です。仲野施設長、是此田施設長もアウトドア感がでていますね。仲野施設長の子供さんも参加して片付けを手伝ってくれました。職員も楽しませていただきました。また喜んでいただける企画を行っていきますので、よろしくお願いします。(行徳 温子)



じんこうさい 神幸祭



5月3日水曜日、宮市区の神幸祭が行われました。今年もあおいうみの駐車場を開放致しました。真っ青な空と春風が吹いて、祭り日和となりました。宮市区の皆様が艶やかな着物姿で踊りを披露して下さいました。

今年は参加者が多く、入居者様も大喜びです。ハッピ姿も決まります。日差しが強い中、父兄の皆様も熱心に見物されました。子ども会の「ソーラン節」も元気一杯です。入居者様は子ども達が大好きです。会話も弾みます。

参加された方から「皆さんに喜んで頂いて良かったです。」と温かいお言葉を頂きました。地域の皆様に心から感謝です。(内橋 泰子)



日替わりシェフレストラン 『梅吉亭』

市内の日替わりシェフレストラン「梅吉亭」に参加させて頂きました。「梅吉亭」とは、十数チームのシェフ達がローテーションを組み、日替わりでランチやカフェを提供する「日替わりシェフ方式」で営業されているレストランです。

ショートステイご利用の岡本様は、以前喫茶店をされていたという事で「昔のような雰囲気を味わって頂けたら」との想いから今回の日替わりシェフレストランへの参加を呼びかけると、快く引き受け下さいました。岡本様は接客担当、調理と盛り付けはご入居者の石井様と私たち職員で担当させて頂きました。



「私に出来るかなー。でも頑張ります!」と岡本様。ホールでは岡本様が開店準備をしてくださります。厨房内では石井様と職員で食材の準備を進めました。分量も測りながら「量が均等になるようにせなな」と慎重に配分しておられました。



11:00、いよいよ開店です。メニューを聞いたりお料理を運んだりする中で、岡本様はさすが喫茶店をされていただけあり、とても手慣れた様子で接客をしておられました。お客様は一般のお客様や関係者等様々でした。

城本様も家族様と一緒に越し下さいました。「美味しいかったよー」とうれしいお言葉も頂きました。今坂副施設長にも食べてもらい、「うまい」と太鼓判を押してもらいました。

お越し下さった方々、また関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。(谷口 実奈)

MESSAGE

FROM PRESIDENT

春の園遊会と安倍首相との夕食会

毎年恒例となつてゐる天皇、皇后両陛下主催の「春の園遊会」が、今年も四月二十日に東京の赤坂御苑で行われました。その園遊会に私も招待を受け、夫婦で出席しました。当日は気持ちの良い春の陽気に包まれました。華やかな衣装を身に着けた約二〇〇〇名もの招待客が集つて日常とは違つて雰囲気の中、天皇陛下、皇后陛下のお顔を間近に拝見することができました。謁見を待つてゐる間、参列者の誰一人として列を乱すことなく、皇族の方々が通り過ぎるのをじつと待つ紳士淑女の規律を守つた振る舞いが、たいへん印象的でもありました。

園遊会の起源は、今から一三七年前、明治十三年秋に明治天皇と皇后が政府要人や外交官らを招いて赤坂離宮で開催した「観菊会」が始まりと言われています。戦中から戦後の十六年間は中断されました。昭和二十八年十一月に「園遊会」として再開し、現在は春と秋の年に一回行われています。天皇陛下は多忙な公務の合間に縫つて、毎回二〇〇〇人以上の招待者の資料に丁寧に目を通して会に臨まれてゐるやうです。

元々は昨年の十一月一日に予定されていた秋の園遊会に招待されていましたが、直前の十月二十七日に三笠宮さまが亡くなられため中止となり、この春に改めて招待を受けていました。安倍晋三首相から直接推薦していただいたとお伺いした時には、たいへん光榮に感じたものの、本当に私でよいのだろうかという気持ちもありました。そこで幹部社員に打ち明けると、自分のことのように喜んでくれました。ウチヤマグループを創業して今年で四十六年になりますが、これまでの社員の頑張りや数々の社会貢献活動が認められ、高い評価につながつてゐることを強く誇りに感じ、私もうれしくなりました。社員の皆さんのおかげで、このような貴重な体験をさせていただけたことに、心から感謝しています。

園遊会前日の四月十九日には、安倍首相ご夫妻から夕食会に招

かれました。ホテル「ユーロオーラ」の中華レストラン「大観苑」には、私たち夫婦を含め首相から園遊会招待の推薦を受けた十組二〇名が参加していました。安倍首相は私の隣の席に座り、出席者全員に気配りをしながら、ユーモアあふれる楽しい話をしてくれました。安倍首相が席を立つと、今度は昭恵夫人が私たちのところへ来て挨拶するなど、最初から最後まで謙虚な姿勢で優しく対応してくれ、気がつくとあつという間に三時間も経つっていました。

安倍首相は、二度目の首相就任前の平成二十四年七月に、ウチヤマグループ主催の特別講演会の講師としてお招きしたことがあります。後にホテルの支配人から聞いた話では、安倍先生はステージ裏の通路を通る際にも、ホテルのスタッフ一人ひとりに頭を下げ、「ありがとうございます」とお礼を言いながら通り抜けていたということでした。誰にも分け隔てなく、いつでも優しい気配りのできる思いやりの深さが、今の安倍首相の人気を支えているのだと思います。また、夫人の昭恵さんは、ウチヤマグループの社会福祉法人さわやか会(山口県下関市)が開催する餅つき大会や夏祭りなどに参加して下さつていて、私とはもう十七年のお付き合いになります。施設の入居者様や職員にも笑顔で気さくに声をかけてくださり、その気取らない雰囲気に、関わる人の誰もが親しみを感じています。そうした過去の経緯も思い出しながら、素晴らしい首相ご夫妻から園遊会への推薦を受けたこと、夕食会に招いていただいたことに、その夜は感慨もひとしおでした。

園遊会の趣旨は、「各界・各層で活躍し、国家・社会に貢献している人に両陛下が直接慰労し励ます」というものです。今回、ウチヤマグループの代表として園遊会に招かれた意味をしつかりと認識し、より一層努力して社会貢献に努めていく、社会の役に立つ会社づくり、人づくりを進めていこうと改めて意を強くしています。皆さんも北九州を代表する企業の一員として自覚と責任感を持ち、今まで以上にお客様や周囲の方々の期待に応えられるよう、一人ひとりが自己成長することでグループ全体の成長・発展につなげていきましょう。

今月の
おすすめ
図書

- | | | | |
|----------|-----------------------------------|-----------|--|
| 1 | ザ・シークレット
(ロンダー・バーン) | 6 | 大人の流儀
(伊集院 静) |
| 2 | ザ・パワー
(ロンダー・バーン) | 7 | どんな時でも人は笑顔になれる
(渡辺 和子) |
| 3 | 儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇
(ケント・ギルバート) | 8 | オズの魔法つかい
(ボブ・ラスコ出版) |
| 4 | できる人のお金の増やし方
(リチャード・テンプラー) | 9 | しらゆきひめ
(グリムさく おばら あやこ ぶん／ひかわ たけてるえ) |
| 5 | 伝記 世界を変えた人々 夏目漱石
(三田村 信行) | 10 | あさになつたのでまどをあけますよ
(荒井 良二) |

活力朝礼の目的

先日、この「コーナー」の中で「さわやか別府の里」のサービスや接遇が非常に良くなっていることを紹介しましたが、「ゴールデン・ウイーク」に入つて益々好調になつてゐるようです。五月五日の朝早く、小野雅幸支配人から私の携帯電話に連絡がありました。もしやすると事故か何かがあったのではと少し不安になりながら電話を取つたのですが、開口一番に「社長、昨日の売上は開所以来最高になりました!」という嬉しい報告でした。それだけでも素晴らしいのですが、会話を続ける中で印象に残つた小野支配人の一言がありました。小野君のリーダーシップや職員の皆さんのおかげだと激励する私に対し、「館内の植物まで元気になつています!」と言つたのです。この一言が自然に出るのは何故でしょうか。小野支配人が、常日頃から植物を大切に思つていること。超多忙なゴールデンウイークの営業中に、植物の様子も視野に入る程アンテナを張つていらしたこと。植物まで元気に見える程に館内が活気に溢れていること。このような背景があるからこそ自然にこの言葉が出てくるのであり、これらは全て私が日頃から職員の皆さんに伝えているサービス業の根幹です。今、別府の里は大きな声と明るい笑顔、活気と思いやりに溢れているのだと思います。

先日私が別府の里に行つた時、職員みんなが大きな声で「活力朝礼」を行つていたのも印象的でした。大きな声を出すことや、音楽を聴くことは、脳を活性化させると言われています。認知症を患っている方は、脳の血流も悪くなっているのですが、音楽を聴くことで平均10%～10%血流が良くなることもあります。また、声を出すことや体を動かすことによつて、脳の前頭葉が活性化するとも言われています。前頭葉とは、「人の気持ちを考える」「言葉を理解する」「喋る」など、一番脳らしい働きを司つてゐる機関です。当社の介護施設では、毎朝入居者様と職員が一緒に大きな声を出す活力朝礼を行つています。活力朝礼は、前頭葉の働きを活性化する上に、内臓が刺激されて血行がよくなる効果や、ストレスを解消する効果もあります。大きな声を出すことによる効能は、楽しい気持ちで行うことによつて更に高まります。当社が運営するカラオケ店「クロッカーズ俱乐部」では、朝食付きの「さわやかモーニングパック」や、カラオケに昼食とドリンクがセットになつた「BOXランチ」などのプランがあり、多くの方が利用されています。若者のレジヤーとしての利用に加え、最近はシニアの方の日常的な利用も増えています。カラオケ俱乐部では六十五歳以上の会員様向けに「さわやかゴールドメンバーカード」という特典付きカードも発行しています。カラオケは単なる娛樂の域を超えて、健康の維持増進にも一役買つてゐるのではないかと思います。

活性化した雰囲気や感謝の気持ちは周囲に伝わり、同じように良い事象を引き寄せます。今日の推薦図書で紹介した「ザ・シークリエット」と「ザ・パワー」には、この引き寄せの法則や人に与えるとの大きさ、感謝や愛のことが、多くの偉人の言葉を添えて詳しく書かれています。そして、多くの人が体験し実感しているこの引き寄せの法則は、必然的な眞実であると私も思っています。以下に別府の里のフロントスタッフ、大谷平珠さんの日報を一部抜粋して紹介します。

今でこそ別府の里はある意味高評価をいただいていますが、以前はスタッフのベクトルが一致しているとは言えない状況であったと思います。しかし、小野支配人が苦労されながら、皆をまといめていかれ、「類は友を呼ぶ」という宇宙の法則によつて、良いスタッフが集まる様になり、現在に至つていると感じています。初めのうちは、言うに言えない苦労が伴い、時間も要しましたが、諦めることなく正しい方向性で辛抱強く継続すれば、不可能が可能になることを学ばせて頂きました。今後も更なる成長が出来る様、皆で頑張ります。

大谷さんが今感じてゐるサービスの改善や楽しい仕事環境は、ほんの少しの変化から生まれたものだと思います。皆さんの中で「今の環境を変えたい」「サービスをもっと良くして喜んで頂きたい」と考えている人はきっと多いと思います。別府の里のように、職員全員がチームとして良いことに取り組んでいけば、変化を起こすきっかけになるはずです。仲間と楽しく仕事をするためにも「元気な活力朝礼で一日をスタートする」とから実践してみてください。



Welcome, Little Princess



瑞木 栄里ちゃん

平成29年1月5日生まれ 女の子

待望の第2子、長女を授かりました。852gという小さな体で産まれてきましたが、とても元気です。5歳の長男も大変喜んでおり、率先して娘の面倒や妻のお手伝いをする様に成長しました。私も息子に負けないよう、2児の父として誇りを持って精一杯仕事に取り組み、家族を養ってまいります。

★しゅりちゃんのパパ★

コロッケ俱楽部 相模原店
店長・瑞木 真司



口腔ケアの試験に 入居者様が挑戦

さわやか俱楽部では、九州歯科大学等との産学官連携で取り組んでいる口腔ケアの充実の一環として、社内資格制度「さわやか口腔ケア認定士試験」を実施しています。

平成29年4月には第3回の試験が行われ、868名が受験しました。基本的には職員のスキルアップを目的としていますが、施設の入居者様からも同等の知識を身に着けたいという声があり、17名の入居者様が実際に試験に参加されました。



受験の感想 さわやか本城館

谷口 守様 [89歳・要介護1]

他人の歯磨きはとても難しかったです。私も食事後には必ず自分で歯磨きを行っていますので、とても勉強になりました。歯ブラシは、1ヵ月に1回交換しないといけないことや、使用後は乾燥しなければいけないことは全く知りませんでした。良い機会をいただき、ありがとうございました。

上野 節子様 [79歳・要介護1]

歯磨きがとても難しかったです。これまで全く気にかけてなく、食事後も歯磨きを自分でしないことがありました。これからは、毎日、食事後に歯磨きを行います。



事例 1 さわやか
鳴水館
城 耐子様
[75歳・要介護1]

今回、口腔ケア認定士の試験を受験する前に、動画と一緒に見て勉強しました。動画を見る前に、城様のブラッシングを見させていただきましたが、歯ブラシを大きく動かす癖があり、力を入れ過ぎている状況です。義歯に関しては、水洗いをしてポリデントに浸けるだけで、義歯を磨くという概念がありませんでした。

動画を見てからは、細かく歯と歯茎の間をやさしくブラッシングすることや、義歯を磨くことを継続的に行っており、口腔ケアに興味を持って頂けるようになっています。(是此田 浩太)



事例 2 さわやか
田川館
富永 貴志子様
[88歳・要支援1]

日頃から健康にとても気を配っておられます。毎日朝・夕は敷地内を散歩され、レクレーションも積極的に参加されています。

今回の口腔ケア認定士のお話をすると興味を抱かれ、動画を見て「私もしてみたい」と言われたので今回受験されました。現在は日々の口腔ケアも丁寧に行いながら、楽しんでおられます。(森元 謙一)

さわやか
相談室



一人で悩まないで!
あなたのお悩み
話してみませんか?

お気軽にお問い合わせください。お電話、メールお待ちしております!

電話番号 090-9497-5764

メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp